

『たらちねりあん』

緋岡 篝作（読み：ひおかかがり （光丘＝ヒカリガオカ アナグラム）



2019年度山口県高等学校演劇発表会最優秀賞受賞

2019年度中国地区高等学校演劇大会優秀賞受賞

作品紹介

<児童虐待> 母親のあり方と周囲の支援、被虐待児の将来を支える方法を探る作品。

登場人物

メイン10人～

上演許可はこちらにお願いします。

drama.club.at.hikari.city@gmail.com

この作品の趣旨を御理解いただいておりましたら、

時代や上演団体に合わせて自由に改変いただいてもかまいません。

山口県立光丘高等学校 令和元年度上演脚本

『たらちねりあん』

緋^ひ岡^{おか} 篝^{かがり}

（光丘アナグラム）

望月志野	二十八歳	保育士	ほっぺ組	主担当
志野（幼少期）	三歳			
ウェンディ	人形・志野の母も兼ねる			
ピーターパン	人形・志野の父も兼ねる			
日野原想	二十歳	新米男性保育士	ほっぺ組	担当
雲井悦子	五十五歳	ベテラン保育士	三歳児クラス主任	おめめ組主担当
星出華恋	二十歳	新米女性保育士	おめめ組	担当 想の幼馴染
伶於	たらちねりあん	保育園	ほっぺ組	園児 三歳
慧	たらちねりあん	保育園	ほっぺ組	園児 三歳
伶於君ママ	奔放な二十三歳の母親			
慧ちゃんママ	穏やかな三十五歳の母親			
悠子	たらちねりあん	保育園	ほっぺ組	園児 三歳
悟	たらちねりあん	保育園	ほっぺ組	園児 三歳
心	たらちねりあん	保育園	ほっぺ組	園児 三歳
悠子ちゃんママ				
悟君ママ				
心ちゃんママ				

（たらちねりあんの「たらちね」は垂乳根、あるいは足乳根で、満ちたりたあふれるほどの母の愛を思わせる言葉。「りあん」はrienで、フランス語で「絆」。しかし皮肉なことに、同時にrienは「無」という意味もある）

脚本中に人形のセリフがある。静止していた人形（ウェンディ）が突然動き出し、語り出す。

『ピーター・パンとウェンディ』は幼い頃からの志野のお気に入りのお話。志野は二十八歳の現在まで、いくつもピーターパンとウェンディの人形を作り直してきた。作品は、幼い志野が、牛乳パックで作った人形で一人語りをしているシーンから始まる。現在志野が働いたらちねりあん保育園の一隅にも、志野が作った等身大のピーターパンとウェンディが飾られている。

語り出す人形の言葉は、志野の心の中で語られている言葉。それは、志野自身の本音だったり、志野が心の中で作り上げた志野の母の言葉だったりする。



#1 連れ出して、ピーターパン！

音響 1 思い出のアルバム①

照明 1 開幕（中央#13+SSCD#71）

舞台 1 緞帳 UP

♪ いつものことだか思い出してごらん♪

幼い志野が、牛乳パックなどで作った人形（ピーターパンとウエンディ）で一人遊んでいる。

照明 2 人形遊び（照明 1+TOPB+CL 志野+叫び）

幼志野

（ピーター人形を掲げて…以下ピーターと略す）「志野ちゃん、志野ちゃん、ほら、魔法の粉をかけるよ。勇気を出して飛び出して！」

（ウエンディ人形を掲げて…以下ウエンディと略す）「志野、飛び方が分からないの。」

（ピーター）「大好きなもの、思い浮かべてごらん。」

志野母

「お母さん？」

幼い志野、母の声を聞き、言葉に詰まる。

幼志野

（ピーター）「お母さんはだめだよ。お母さんのいない世界に飛び立つんだ。」

（ウエンディ）「じゃあ、ピーターパン！」

（ピーター）「ほんと？ 僕が大好きなの？」

（ウエンディ）「うん、志野、ピーターパン大好き！」

（二体とも）「おいで、志野ちゃん、ネバーランドへ！」

お母さんのいない国へ！」

志野母

「お母さんのいない国へ？」



幼い志野、母の声に縮み上がる。

照明 3 暗転

音響 2 思い出のアルバム②

#2 たらちねりあんの日常

たらちねりあん保育園。夕方の体操の時間。

上手には、2階の職員休養室。その下の壁には、たらちねりあん保育園と書かれている。下手には三歳児クラスのほっぺ組がある。奥には、人形が二体飾られている。

ほっぺ組担当の志野と想が園児たちに体操をさせる。同じく三歳児クラスのおめめ組担当の華恋が園内放送をする。

想、体操の様子を見ながら、しれっと明日の参観日のためのカーネーションを作り始める。

照明 4 夕方（地明斜 CL・FR#W+TOP2#872+FR 掲示板）

華恋

たらちねりあんのみなさん、こんにちは。

音響 3 華恋①

子ら

こんにちは！

華恋

今日も楽しかったですか？

音響 4 華恋②

子ら

はい！ 楽しかったです！

華恋

夕方のたらちねりあん体操をしましょう。

音響 5 華恋③

子ら

はーい！

子どもたちは園オリジナルの体操「たらちねりあん体操（例えばアイネクライネナハトムジークのメロディをモチーフにした音楽）」を始める。

音響 6 たらちねりあん体操①

♪おみにママの声。おくちに。パパまんま。おめめぱちくりりん。ほっぺにちゅー。おへそぽんぽん。あんよトントン。おてて。パチパチ。おつむテンテン。おでこをつーん。たらちねりあんねりあん たらちねりあん保育園♪

心ママが迎えに来る。ほかの子たちはそれぞれ自由に遊び始める。心、心ママの胸に飛び込む。慧はその様子を指を咥えて見ている。

心ママ 心！

音響 7 たらちねりあん体操①

心 （抱きついて） ママ！

心ママ （抱きしめて） もう、大好き！ 荷物、取っておいで。

志野 （心に目配せをして） あれもね。

心 うん！

心ママ あれってなんですか？

志野 何だと思いますか？

心ママ 何かな？

志野 明日、参観日来られないじゃないですか？

心ママ 家族旅行の予定入れちゃって。

志野 それで、渡したいものがあるんです。

心 ママ見て！

志野 いつもありがとう（つて言つて）。

心 ママ、いつもありがとう！

心ママ わあ、すごい！（絵を顔の横で広げて） ママ、こんなにかわいい？

心 うん、ママ、かわいい！ 大好き。

心ママ ママも大好き！（抱きしめて）ぎゅうっ！

教室の真ん中で、母の絵を描き始めた慧、再び指を咥えてじっと見る。

心ママ 先生、さようなら。

心 先生、さようなら！

志野 さようなら。楽しんで来てね！

心 うん。

心、心ママ、退場。園の奥で悟と悠子が手遊びをしていたが、悠子が突然泣き出す。

悠子 うわあああん。先生、悟君が。

悟 わざとじゃない！ 叩いてない！

想 （作りかけのカーネーションとハサミを放り出して、悠子のもとに向かう）大丈夫、悠子ちゃん。

悟 ごめんね。

悠子 うん。

怜於、転がりながら、想が床に置いていったハサミで遊び始める。志野、それに気づいて声を上げる。ちょうどその時、華恋、ほっぺ組の教室に入ってくる。

怜於 （ハサミを両手で持って開いたり閉じたりしながら）じよきじよき。

志野 （ハサミを慌てて取り上げて）怜於君、危ないよ！ 想ちゃん先生！

人形 あんた、なにやってんの！

想 はい、なんですか、志野先生。

志野 怜於君がこれを……。

想 （しれっと）それ、僕が使っていました。

志野 え？ 何で？

想 （混乱して）え、え、え、え……。

人形 また、それ？

志野 だから、何で？

想 カーネーション作っていました。

志野 どうして？

想 （何故か、決めて）実はカーネーションの数がちよっと足りないんです。
人形 ちっ。（舌打ち）

華恋 もう。

想 （華恋が来ていることに気づいて）あ、華恋！

華恋 （またかと言った様子で）志野先生、はっきり言ってやってください。

悟、華恋の存在に気づき、華恋に飛びつく。

悟 （甘えて）華恋先生！

華恋 なくに？ 悟君。

志野 （華恋に）はい。（怒りを押し殺して、想に）子どもたちがいるときは危ないから、あとで一緒にやりましょう。

人形 なんて、はっきり言えない！

華恋 （想に）ったく……！

想 （何故か、決めポーズで）はい！ わかりました！ ありがとうございます。

怜於 （飛行機を真似て）ぶーん。（廊下に飛び出していく）

想 あああ！ 怜於君！ ちょっと待って！

想、はさみを放り出して、怜於を追いかける。

華恋 志野先生、おめめ組、今日延長ありませんので。

志野 分かりました。

悟 （華恋にもたれて）華恋先生、もう行っちゃうの！

華恋 じゃあね、悟くん。（投げキッスで）ちゅ！

華恋、退場。

悟 （華恋を追って）ちゅ、ちゅ、ちゅ！

志野 （置きっぱなしのハサミを見て）想ちゃん先生！ ハサミ……。

人形 絶対わかってない。

悟 （悟、志野の顔を覗き込み）志野先生、目が三角！ 怒ってる！

慧 （トイレに行きたくて、志野のエプロンを引っ張って）先生。

志野 慧ちゃん、ちょっと待ってね。これ（ハサミと折り紙セット）、しまってくるからね。

悟 志野先生、目が三角！ 怒ってる！

悠子 （悟と手をつないで、悟を真似て）三角、三角！ 怒ってる、怒ってるううう！

志野、ハサミを片付けて戻ってくる。

志野 怒ってないよう。

人形 子どもたちは、ちゃんと見てる！

悟 じゃあ、志野先生、想ちゃん先生好き？

悠子 悠子、想ちゃん先生好き！

志野 うん、好きだよ。

人形 またうそ！

慧 （トイレに行きたくて、志野のエプロンを強く引っ張って）先生……。

志野 慧ちゃんおトイレ？ 急ご急ご。

悟 急ぐ急ぐ！

志野、慧を連れてトイレ（下手奥）に行く。悟、悠子、トイレを覗く。

慧 あ！

悟 漏らした！

志野 （トイレの中から）次は間に合うからね。

想、怜於を追いかけて戻ってくる。

怜於 （飛行機を真似て走っている）ぶーん！

想 待てー！

悟 想ちゃん先生！ あのね、志野先生が想ちゃん先生のこと好きだって。

想 本当？ やった！

悟・悠 （想を真似て）やった！ 好き好き好き好き。

想、悟、悠子戯れる。怜於、輪に入りたくて悠子にぶつかる。

悠子 痛い。

悟 痛いの痛いの飛んでけー！

志野、慧を着替えさせてトイレから戻ってくる。

悠子ママ、悟ママ、登場。連続ドラマの話をしている。

悠ママ 絶対あそこで告白するべきっちゃ！

悟ママ 結局捨てられてみじめになるだけっちゃ。

悠ママ （待ち構えていた志野に）志野先生なら、イケメンとの愛と、冷めたダンナとの家庭、どっち取りますか？

人形 子ども預けて昼ドラ？

志野 私は子どもの幸せが一番です。（悟たちと戯れている想に向かって）想ちゃん先生！ 悠子ちゃんと悟君の（帰り支度をさせて連れて来て）……。

想 （嬉しそうに志野の傍に飛んで来て、何故か、決めポーズ）はい！ 何ですか？
人形 全く気が利かない。

志野 （なんで、飛んで来てるの？）……じゃあ。（悟と悠子に帰り支度を促しに行く）

悟ママ （想に呼びかけ）想ちゃん先生！ 想ちゃん先生堅いから、絶対不倫なんかしないでしょ？
想 不倫？ まだ結婚していないので分かりませんが、僕は奥さんを泣かせるようなことはいけません。

悠ママ おおっ、さすが想ちゃん先生。

想 最初から一番好きな人と結婚すれば、そういうことにはならないんじゃないですか？

悟ママ それは、ものすごく正しいけど、ものすごく難しい話！

悟、靴を逆に履き、志野きちんと履かせる。

想 ママたちは、好きじゃない人と結婚したってことですか？

悠ママ いや、そうは言いません。ただ、普通すぎる毎日には、妄想という刺激が必要なんです！

悟ママ あああ、誰か、私をこの平凡な日々から救い出して！

志野 ママたち、子供たちが待ってますよ！（想に）想ちゃん先生、怜於くん（見ててもらえますか）……。

怜於、慧の周りにダンボールのブロックを積み重ねて、埋めようとしている。

想 ああ、怜於くん……。

想、怜於を止める。

悠ママ （悠子ちゃんを抱きしめて）大丈夫だよ、ママは悠子ちゃんを置いてかないよー。悠子ちゃん大好きだよ、大好き大好きー！ ギューー！

絵を描いていた慧が、指を咥えて悠子と悠子ママの様子を見ている。

悟、母に荷物を預けて駆け出す。

悟 ママ、はい。

悟ママ （悟を追いかけて）悟待ってよ！

志野 悟君、さようならは？

悟 （振り返ることなく）先生、さようなら！

悟ママ、悟、退場。

志野 （二人の背中に向かって）明日、参観日ですからね！ 待ってますよ！

悠ママ 明日、お昼までですよ？

志野 はい、ピザパン作って食べて帰ります。

悠ママ ピーマン入ってますか？

志野 入ってますよ。

悠子 えーピーマンやだ！

志野 先生が魔法をかけておいしくするから大丈夫。

悠ママ 明日は志野先生の魔法が見れるって！ 楽しみじゃねえ。

悠子 先生、さようなら。（去りながら）今日のご飯、何？

悠ママ 悠子ちゃんの大好きなピーマンの肉詰め！

悠子 いやーん。

悠子ママ、悠子、退場。

志野 （壁に掛けられた時計を見ながら）慧ちゃん、今日ママ遅くなるって言ってた？
慧 ママ、慧がいい子じゃなかったら、お迎え、来ないの。

志野 何言ってるの、慧ちゃんは良い子だよ。

慧 いい子？

志野 うん。わぁ。〔慧の絵を見る〕上手。慧ちゃんママも、とっても素敵なママ。

慧 素敵なおママ？

志野 うん。慧ちゃんママは世界で一番良いママ！

怜於、後ろに現れて志野を覗き込んでいる。

怜於 怜於？ ママ？

志野 どうしたの？

怜於 一番？

志野 なに、怜於君？

怜於 怜於ママ、一番？

想 志野先生、怜於君ママも、世界で一番良いママですよ！

志野 想ちゃん先生……。

悦子、入ってくる。

悦子 志野先生！

志野 はい！

想 悦ちゃん先生お疲れ様です。

志野 お疲れ様です。

悦子 慧ちゃん延長で。

志野 わかりました。

怜於、ふくれっ面でブロックを蹴り倒す。

悦子 〔怜於に〕保育園壊さんでよ！ おいで！

怜於 おっばーい！〔悦子の胸に突進する〕

悦子 〔怜於を抱きしめて〕ぎゅうっ！

志野 怜於君ママからは？

悦子 ないねえ。まあ、そのうち来てえね。あれやったら、する？〔手で受話器の真似をする〕

志野 お願いします。

想 〔謎のステップを踏みながら〕怜於君ママはレッスンの途中だと電話出られませんよ。

悦子 じゃ、仕方ないね？

人形 それでいいの？ 事なかれ先生。

悦子 大変やろうけど、よろしくね！ ほっぺ組の準備も、華恋先生と二人で済ませちゃくけえ、心配せんで。

志野 大丈夫ですよ。延長終わってからやりますから。

悦子 志野先生、甘えられるところは上手に甘えるもんよ。

想 （格好つけて）志野先生、無理は禁物ですよ。

悦子 じゃあね。

志野 ありがとうございます。

想 お願いします！

志野、慧の傍に駆け寄り、慧の絵を覗き込む。

志野 慧ちゃん上手に描けたかな？

怜於、ブロックを蹴る。それに志野が驚き体勢を崩し慧に凭れ倒れる。慧、ころんと転がる。

怜於 ブーン！（飛行機の真似をして走り去る）

想、怜於を追いかけてほっぺ組を出す。

想 （怜於を追いかけている）怜於君、待ってー！

志野 慧ちゃん、びっくりしたね。大丈夫？ 痛くなかった？

慧 今、痛いっていうの？

志野 痛かったら痛いって言っているよ。

慧 痛い、痛い。

志野 ここ？（大げさなポーズをとって）痛いの痛いの、飛んでいけ！ はい、もう大丈夫。

#3 理想の母親

慧ママ、走って登場。夕闇に変わりつつある。

照明5 夕方2（照明4＋Fr#33＋Pa#33）

慧ママ （息を切らして嬉しそうに）志野先生、ごめんなさい！ 契約取れたの！ 引越したばかりで、絶対無理だと思ったから、良かった。

志野 （調子を合わせて、大げさに拍手をしながら）良かったあ。

慧ママ （折り紙で作った花束を差し出して）はい。これ待ち時間に折ったの。お礼の花束！ どうぞ！

志野 うわあ、素敵！ ありがとうございます。さすが慧ちゃんママ、何でもできるんですね！

慧ママ 年食ってるママだからね、えへ。

志野 いえ。

慧ママ 私、石橋を叩いて割っちゃうタイプだから（石橋を叩いて割るジェスチャー）。

志野 （お道化て）割っちゃうんだあ。

慧ママ なかなか結婚に踏み切れなくて。

志野 そうだったんですね。

慧ママ （笑顔で志野を見つめて）……ママになる自信無かったの。……愛されずに育ったから。

人形 あなたも？

慧ママ （茶化して、大げさなジェスチャーを入れて）いつもぶたれてた。口答えしたら、すぐビ
ンタが飛んできてた。

人形 あなたも……。

慧ママ 母は一度火が着いたら止められない人で、私いつもびくびくしてた。母みたいになりたく
なくてね……。

人形 やっぱり。

志野 ……（不自然なほど明るく）今や、こんなに素敵なママなのに？

慧ママ そう見える？

志野 はい。

慧ママ、慧に靴を履かせる。

志野 お昼と3時の薬、飲ませました。さっき、ちよつとぶつかっちゃって、痛いって言ってたん
ですけど……。

慧ママ （突然、むきになって）どんな風にぶつかったの？ 何にぶつかったの？ それとも、誰か
とぶつかったんですか？

人形 子どものために必死になってくれるママ！

志野 ころんって転がったただだから、大丈夫だと思いますよ。

怜於、ブロックを蹴る。

怜於 キーック！

慧ママ （怜於を睨んで）あの子ね？

志野 でも、ぶつかったのは……。

想 ぶつかったのは、先生です。先生がよろけたはずみで、ちよつと慧ちゃんに当たっちゃった
んです。

慧ママ （想に）あなたが、あなたみたいな大男がうちの子にぶつかったんですか？

志野 いえ、私です。

慧ママ 志野先生？ あ、ごめんなさい。慧のことになると、つい熱くなってしまうて。（想に）失
礼なことを申し上げてすみません。

想 いえ、大丈夫です。

志野 ご心配をおかけしてすみません。慧ちゃん、もうおても肘も痛くないよね？

慧 （慧ママの顔を見て）……？

慧ママ 慧、痛いのか？

慧 痛い、痛い、痛い。

志野 また痛くなっちゃった？（大げさなポーズで）痛い痛い、飛んでいけ！ はい、もう大丈夫。

慧ママ 念のため、病院に連れて行ってみます。

志野 え……？ 疲れていらつしやるのに、すみません。

想 志野先生、慧ちゃんのお着替え！（ビニール袋に入った慧のパンツとスカートを志野に渡す）

志野 ありがとうございます。

慧ママ ……パンツ？ 慧、間に合わなかったの？

慧、志野の後ろに隠れる。

人形 怒ってる。

志野 慧ちゃんママ、慧ちゃん、とっても上手にお母さんの絵描いたんですよ。

華恋、ほっぺ組の教室に入ってきて、教室を見回す。想は怜於と遊んでいる。

志野は、戸口で、慧ママと話している。華恋、そのひそひそと話している様子が気になる。

想 （怜於にブロックを渡そうとして、ブロックが怜於に当たりそうになり）おっと怜於君、びっくりしたねえ。

慧ママ （想をじっと見て、志野を引っぱり、声を潜めて）志野先生ちよつと、あの男の先生のことでお話が。

志野 想ちゃん先生ですか？

慧ママ ええ。まさか、慧のおトイレとかお着替えとかされてませんよね？

華恋 （突然割って入って）想ちゃん先生はプロの保育士ですから、安心してお任せください。

志野 華恋先生！（慧ママに）同じ年少さんのおめ組担当の華恋先生です。

慧ママ 私、男の先生が娘に触れるのとかちよつと。

華恋 想をロリコンって言いたいんですか？

慧ママ そんな事言ってます。

華恋 想ほど高い志を持った男はいませんよ。

慧ママ そうなんです。

華恋 こんなに給料安いのに、子どもたちに自己肯定感を持たせたいって……。

志野 華恋先生！

人形 あんた、何様。

志野 （大げさにガッツポーズで）慧ちゃんママ、想ちゃん先生は子どもたちに大人気なんですよ。

慧ママ でも、慧は、男の人に慣れてなくて……。

華恋 小児科の先生も、男の人じゃないんですか？

慧ママ ええ。まあ。

華恋 きつとママより、慧ちゃんの方が早く慣れますよ。ね、慧ちゃん、想ちゃん先生、大好きだよねえ。

慧 ……。(母親の顔色を窺う)

慧ママ その子、その子の事情がありますから。

志野 慧ちゃんの様子を見ながら、対応していきますね。

慧ママ 今日は急に延長保育をお願いしてすみませんでした。失礼します。慧！

慧 先生、さようなら。

志野 さようなら。

慧ママ、慧の腕を激しく引いて退場。華恋、じっと見つめる。

想は怜於とともに遊んでいる。

華恋 なんかなり澄まして、いやな母親！

志野 (作り笑顔で) 華恋先生、今のはちょっと……ね。

想 (決めポーズで) 慧ちゃんママは、志野先生の理想なんだからな。

華恋 え？ あれが理想？

怜於 リソー、リソー。

華恋 志野先生、歪んでますね。

志野 どういうこと？

華恋 あの人、マウント取って見下さないと、満たされないんだよ。あの目つき！ 手を引いて帰る間、慧ちゃんの方を一回でも見ましたか？

人形 新米保育士のくせに。

志野、怜於が椅子の上に立ち上がって危険なため、怜於を支えに行く。

想 (決めポーズで) 華恋のそういうところも良くないよ。

華恋 そういふところって？

想 すぐ人を批判するところ。

華恋 批判じゃないし、分析。けっこう当たつちよると思うんやけど……。

想 でも、褒めてくれてありがと！

怜於 (飛行機を真似て) ぶーん。

想 怜於君、ちよつと待って！

志野、怜於を追いかけるが、想が走り出したので、想に任せて華恋のところに戻ってくる。

志野 華恋先生、なにか……？

華恋 あ、帰るって伝えに来たんです。もう、打合せいいですよ？

志野 えっ、帰る？ でも確認したいことが……。

華恋 だってピーマンの種抜きもしたし、玉ねぎとベーコンも切ったし、グループ分けもしましたよ。

志野 （大げさに拍手して）すごい！ さすが、華恋先生！

華恋 ほっぺ組の準備もしておきましたんで。

志野 ありがとう。でも、打合せがね。

華恋 オープンの順番ですか？ うちが先にやって、その後呼びに行きます。もう打合せすること

ないですよ？

人形 すごい圧！

志野 大丈夫かな。

華恋 大丈夫ですって。じゃあ失礼します。

志野 でも……。

華恋、ほっぺ組を出る。志野、華恋の後を追おうとするが、すぐに諦めて、人形のもとに戻り、慧ママにもらった折り紙の花束を人形に持たせて、じっと見つめる。

#4 ガールズトーク！？

照明 6 ガールズトーク（照明 5 + TOP3#W・CL 狙悦子）

華恋、休養室（上手・山台）に上がり、帰り支度をする。

休養室では、悦子がホットシナモンミルクで一服している。

華恋 （匂いを嗅いで）またシナモンミルク。

悦子 これがいいのよ。リセットリセット。飲む？

華恋 いえ。私、帰るんで。

悦子 打合せ、ええんかね？

華恋 わざわざ話すことないでしょ。もう準備しちやったし。

悦子 そうかねえ。

華恋、メイク道具を出す。

悦子 デート？

華恋 合コン！ 私、彼氏をゲットする秘訣を手に入れたんですよ。

悦子 そりゃあ、ええ！ 教えてもらわんにゃいけん。

華恋 は？ 知らないでしょ？

悦子 ええけえ、教えて教えて！

華恋 モテる女のさしすせそ！（大げさにポーズをとりながら）さすがあ。知らなかったあ。すご

おい。センスいいですねえ。そうなんだあ。

悦子 これ志野先生みたいやね。

華恋 え？ あんな嘘くさいならやくめよ。

悦子 そんな言わんでも！

華恋 私、志野先生とは違うんで。保育士なんて腰掛けで、さっさと辞めちゃうし。

悦子 え、辞めちゃうの？

華恋 自分の子どもを預けて他人の子をお世話するの、なんか違う気がするんですよね。

悦子 それも悪くないよ、気が変わって！

華恋 私、志野先生みたいに燃えてないんで、ごめんなさい。

悦子 華恋先生には華恋先生の良さがね。

華恋 えへへへ、でもいい人いないんですよ。

悦子 理想が高いんじゃない。

華恋 違うんですよ。なんか心底信じられる人、いなくて。

悦子 想ちゃん先生と付き合ったらええじゃ。

華恋 ないない。

悦子 なんで？

華恋 ただの幼馴染だから。

悦子 ええコンビと思うよ。

華恋 でも、もつと男らしい人がいいな。

悦子 想ちゃん先生、ええ体しちよって男らしいじゃん。

華恋 あいつ、ゴキブリ見つけたら、きやあきやあ言いますよ。

悦子 ギャップ萌えてて奴じゃろ？

華恋 ない。

悦子 じゃあ、志野先生とくつつけるか。

華恋 （むきになって）それはもつとない。合わないと思います。

悦子 そうかね？

華恋 だって、あの人、何考えてるかわかんないじゃないですか。目が笑ってないし。

悦子 志野先生？

華恋 想がロリコン扱いされてもなんにも言ってくれないし。

悦子 そんなことがあったん？

華恋 想のこと、認めてもらってる気がしないんですよ。

悦子 想ちゃん先生、抜けちよるところもあるけど、純粹でええ先生やと思うよ。

華恋 （悦子を見つめて）……良かった。悦ちゃん先生に分かってもらえて。志野先生にも

分かってもらいたいなあ。あいつ、あんな鈍感力 100% のくせに、結構気にしないんですよ。

悦子 中学のときも引きこもりかけたし……。

華恋 本当？

悦子 あいつ、ちよつと変な奴じゃないですか。（ロッカールーム（上手奥）の方でエプロンを脱

ぎながら、時々顔を出して）自分の好きなことになると一人で盛り上がるし。結果、クラス

悦子 で浮いちゃって。

華恋 多感な時期じゃけえ、辛かったやろうね。

悦子 ちよつと同じ時にお母さん入院して。

華恋 そりゃあ、辛いね。どうやって立ち直ったん？

悦子 それは、私のおかげです！ 私、あいつのお母さんと約束したんですよ。あいつを一人にし

ないって。

華恋のスマホの通知音が響き、華恋はスマホを取り出して確認する。

悦子 安心できる人が傍におってくれたら、強くなれるもんね。

華恋 でしょ？

悦子 はあ、このまま一緒になって、子どもぼこぼこ産んでちょうだい。

華恋 悦ちゃん先生は、手近な男女をくっつけようとするの、やめた方がいいですって。私はまだ

見ぬ理想の旦那を落としに行ってきます。

悦子 いつてらっしゃい。

華恋、スマホを置き忘れて退場。

照明 7 夜（照明 4 + 地明 #73 + FR #78）

#5 最低の母親

外はもうすっかり暮れている。

休養室の悦子、ゆつくりとシナモンミルクを飲み干し、コップを片付けて、帰り支度を始める。華恋がスマホを置き忘れていることに気づき、一瞬悩むが、棚の上に置いておく。

怜於ママを乗せた車が到着。車載スピーカーから大音量のヒップホップが聞こえてくる。

怜ママ （笑いながら）向き変えて待っちゃって！（踊りながら歩く）

音響 9 車内 BGM
音響 10 クラクション

志野、訝しげに怜於ママの様子を見る。

想 怜於君、ママ来たよ。準備して来て。（怜於ママに）こんばんは。

怜ママ もお、想ちゃん、マジ疲れた〜。

想 （決めポーズで）お疲れさまです。怜於君、元気に待ってましたよ。

志野 （想に言うべきことを言うように促して）想ちゃん先生……？

想 え？ あ、怜於君ママ、延長保育、申し込まれてましたっけ？

怜ママ は？ 申し込んだやろ。（素に戻って）私、言ってなかったっけ？

想 聞きましたっけ、僕？

怜ママ （逆ギレして）言ったし！ ……多分。

志野 想ちゃん先生……。

人形 また、こいつのせい。こいつのせいで、私の信用が崩れてく。

志野 多分こちらのミスですね。こういったことを避けたいので、できるだけ申し込み用紙に記入してくださいね。

怜ママ はいはい。

想 （何故か決めポーズで）連絡帳読んでもらえましたか？

怜ママ へとへとで読む元気ないから。

志野 連絡帳は園とママとの大切なやり取りですので……。

怜ママ （志野を遮って）分かった分かった。でもさ、口があるんだから口で言えばいいじゃん。
想 （決めポーズで）お着替えのストックがありません。

志野 お願いますね。
怜ママ わかった。（イラつとして）怜於、あんた何枚パンツ汚してんだよ。勘弁してよ。帰って洗濯する元氣ないし。

志野 おうちでは、あまり失敗はしませんか？
怜ママ おむつだからね。

志野 怜於君ママ、トイレトレーニングは眠るぎりぎりまで気をつけてあげて……。
怜ママ （志野を遮って）分かった。志野ちゃん、うざい！ 人には人の事情つてものがあるんだからさ。私、これでも一人で頑張ってたんだよ。

人形 自分のことばかり。子どものために何を頑張ってたんの？

怜ママ （服の裾に巻き付いてきた怜於を突き飛ばし）伸びるじゃん！

志野 怜於君、可哀想！

怜ママ 可哀想？ ねえ、怜於、可哀想？ 私みたいな母親じゃあ、怜於、可哀想っていうの？

騒ぎに気づいて、帰り支度をした悦子が様子を見に来る。

悦子 ちよっとちよっと、どねえしたんかね。

人形 あははははは、何も言えない、無能保育士！

悦子 怜於君ママ、今日もまた、シヤレオツじやねえ。

怜ママ もう、悦ちゃん、聞いてえやあ。志野ちゃんがさあ、私に絡んでくるう！

悦子 昨日も遅かったんやろ？ 疲れちよるんじやないん？

クラクションが鳴る。

音響 11 クラクション

怜ママ あ、忘れちよった。待たせちよるけえ、もう行くね？

悦子 （意味深げに）あら？

怜ママ ふふ、今夜はちよっとね。

悦子 いいこと？

怜ママ ふふふん。いいこと！

悦子 楽しんでおいでね。

怜ママ うん！

人形 それでいいの？

志野 怜於君ママ、明日の参観日いらっしやいますよね？

怜ママ え、マジ？（聞いてないし）

志野 連絡帳にプリント挟んでたんですけど。

悦子 明日の朝も仕事なんかいい？

怜ママ 仕事は昼からじゃけど。

想 良かった！

怜ママ 今夜、遅くなるけえ、マジで、きついんだけど。

悦子 怜於君も、楽しみにしちよるよ。

怜ママ 朝苦手だからなあ。

人形 それでも母親？

志野 ……。

想 みんなで、ピーザーパン作ります。

怜於 ピーターパン、ピーターパン！

怜ママ 何、それ、爆笑！

悦子 おいでよ。待ちよるけえね。

怜ママ 分かった。頑張ってみる。

想 やったあ！

再びクラクション。怜於ママ退場。怜於、運動場で踊り出す。

音響 1 2 クラクション

怜ママ すぐ行くって！ ほら、怜於、行くよ。

怜於 ぼくすてたーん……。

志野 怜於君、行かなきゃ。急いで。

怜ママ 怜於、帰るよ。

怜於 ぼくすてたーん、ぼくすてたーん。

怜ママ 置いてくぞ！

怜於、退場。

音響 1 3 ドア＋発車音

志野 置いてくって……。

悦子 （苦笑い）……。

志野 どこに行くんでしょうかね……。

人形 遊びに行くに決まってる。

悦子 まだまだ若いけえね。怜於君も、難しい子じゃしね。

志野 怜於君の言葉が遅れてるのって……。

人形 ネグレクトのせい。

悦子 毎日ちゃんと保育園連れてきちよってんじゃけえ。怜於君の特性じゃろ。

志野 相談センター紹介したんですけどね。

人形 それで終わり。

悦子 なかなか踏ん切りがつかんのかもしれんね。

人形 結局、子どもを守れない。

志野 （重い溜息をつく）

悦子 志野先生、疲れてない？

志野 大丈夫です。

悦子 素敵なプランありがとね。きつとみんな喜ぶよ。

志野 上手くいくといいんですけど。

悦子 じゃあ、また明日。

志野 はい！

悦子、退場。

#6 ピーターパンとウエンディ

志野 お疲れさまでした。

想 お疲れさまでした。僕、トイレと手洗い場、掃除してきますね。

志野 お願いします。（教室の拭き掃除を始める）

想、トイレに退場。志野、テーブルを拭きながら大きなため息をつく。後ろから人形が語りかける。

人形 向いてないのよ。だから疲れる。

照明 8 対峙 (SSCD F#71・E#20+S4 木端#86+TOP2#872・中央狙#86+CL 狙叫び#872)

志野 疲れてなんかない。

人形 辞めちゃえば？

志野 私は、子どもたちを守る。

人形 （嘲笑）子どもは見てるって、あんたの嘘！

照明 9 対峙 2（照明 8－CL 狙叫び）

志野 嘘なんかついてない。

人形 綺麗事ばかり。人間嫌い！

志野 子どもたちを愛してる！

人形 愛を知らないあんたが愛せるの？

志野 （怒りのあまり大声で）黙って！ 消えて！

想、驚いて入ってくる。

照明 10 夜 2（照明 7+TOP2#872・中央狙#86）

想 志野先生、怒ってますか？ ハサミのこともブロックのことも怜於君ママのことも本当にすみません。

志野 やだ！ ごめんね。驚かしちゃったよね。最近ちよつといろいろ溜まっちゃってたから、大声出してスッキリしようかなって。

人形 あんたのせいだって言ってやりなさいよ。ほんと嘘ばっか。

志野 想ちゃん先生も疲れてるでしょ？

人形 いい加減やめたら？ その愛想笑い。

志野 もう帰っていいよ。

想 まだ、カーネーション、できてないですよ。

志野 あ。（忘れてた）
想 あ。（でしょ？）
志野 よし！一緒に頑張らしましょう！
想 はい！僕、取ってきますね。

想、折り紙を取りに行く。

人形 うっかり者のぶきつちよさん。あんた保育士に向いてない！って言いたいのにね。
想 取ってきました。
志野 じゃあ作りましょう。

二人、カーネーションを折り始める。

志野 （想の手元を見て）あ、そうじゃなくて。角度が違いますよ。（直す）こうです。
想 （嬉しそうに志野の手元を見ながら）実は折り紙苦手なんです。

志野 （呆れて）じゃあ、なんでやりますって言ったんですか？

想 （何故か決めポーズで）志野先生の役に立ちたくて。

志野 ……（大げさなポーズで）嬉しいです！

人形 ほら、嘘。

志野 でも、こんなに折れないとは思ってませんでした。

想 すみません。母はよく折ってくれてたんですけどね。

人形 出た出た、世間知らずのお坊ちゃん。

志野 習わなかったんですか？

想 色々言われるのがいやで。

志野 甘えてたんですね。

人形 妬んでる！

想 （いつにも増して不思議な決めポーズでぐっと近づいてきて）はい。甘ったれです、僕。

志野 （不意のポーズに思わず笑い出して）うふふ！自慢するところじゃないですよ。

想 そうですよ。母にもしょっちゅう言われてました。「甘えんぼさん！」って。

志野 （白けて）ははははは…。

想 （完成したカーネーションを掲げて）出来ました！

志野 ……うん、出来る！

想 これ、お母さんにプレゼントしたいです！

志野 ……お母さんに？

想 はい！

志野 ……（無理に笑顔を作って）幸せですね。素敵なお母さんに育ててもらって。

想 え？僕マザコンじゃないですよ。

人形 コンプレックスは私。



志野 （人形に答えて） そんなわけない。

想 （志野が否定したことに戸惑って） え？

人形 幸せな人が許せない……。

志野 （大きな声で） 違う。

想 がーん（あ、やっぱり僕、マザコンですか……ですよ……）。

志野 ああ、（作り笑顔で話を変えて） ……なんで、保育士になろうと思ったんですか？

想 （突然笑い出して） へへへ！ 笑いませんか？

志野 はい。

想 （突然の決めポーズ） 僕、ピーターパンになりたいんです。

志野 え？

想 （固まった志野を覗き込んで） 聞いてますか？

志野 ……ああ、ピーターパン。

想 はい。ピーターパンです。

志野 私も、ピーターパンとウエンディ、好きなんです。

想 ですよ？ これ、ピーターパンとウエンディでしょ？

志野 あ、わかりました？ 私が作ったんです。もう何代目かな？ 小さい頃から何度も作り直してました。いつか連れ出してくれるんじゃないかって。馬鹿みたいに。

人形 ほんと、馬鹿みたい。

想 僕も、ピーターパンみたいに、（ピーターパンになりきり、架空のフック船長と戦いながら） 親に嫌われた子どもたちを想像の世界に連れ出すリーダーになりたいんです。

志野 親に嫌われた子どもたちって言いました？

想 はい。

志野 どういうことですか？

想 ピーターパンは、（志野の手を取り） 親に捨てられた子をネバーランドに連れて行つたって知りませんでしたか？

人形 あんた、私の何を知ってるの？

志野、 慌てて想の手を振りほどく。

想 あああ！ 僕たち、ピーターパンとウエンディですね。

人形 連れだしてくるって。

志野 私、ウエンディじゃありません。

想 ええ？ ピーターパンの方がいいですか？ 志野先生はネバーランドのお母さん、ウエンディにぴったりです。

人形 母親にはならない。

照明 1 2 夜 2（同照明 1 0）

スマホを取りに戻った華恋、志野と想の声を聞きつけ、ほっぺ組を覗く。

想 志野先生、ごっこ遊びしませんか！

人形 ピーターパンと遊べって？

志野 え？ そんな時間ないですよ。まだ、カーネーションの数足りてないし。それに私、エプロンシアターもちよっと直したいところあるんで。

想 それ、僕に任せてください。

人形 カーネーションすら作れなかったくせに。

志野 いや、自分で出来るので、大丈夫です。

想 僕すごい良い考えがあるんです！ 任せてください。

志野 じゃあ、お願いしようかな？

想 だから好きです、志野先生！ あ、付き合ってください。

華恋、
ショックを隠せない。

志野 （恋人として付き合ってくださいと言われたと思い）いえ、私、お付き合いするつもりはありません。結婚も一生するつもりはありませんし。

想 結婚？（結婚という言葉に勝手に嬉しくなって、呟くように）僕も紛らわしいこと言ってますみません。あの、二分だけでもえませんか。

志野 二分？ 何をしたらいいんですか？

想 お母さんごっこです。

人形 出た。出た。

志野 え？

想 志野先生がお母さんで、僕が息子です。

志野 なに、それ。分かりません。

想 お母さんごっこはいつも子どもたちがやっていますよ。

志野 ……はい、じゃあ。「は〜い。想ちゃん、ごはんですよ。早く、いらっしやい。」

想 「お母さん、覚えててくれたんだね。僕との約束。」

志野 （ボソッと）約束？（それ、何よ？）

想 「うん！」

志野 （ま、いいか？ オムライスを作る約束ってことでいい？）「はい。オムライス！ ケチャップで、花丸作ったよ。」

想 「うん！ ありがとう！ あむあむあむ……（必死で食べる真似をしているうちに、志野ではなく、宙を見上げて）お母さん、僕、あれから頑張ったんだよ。」

志野 「なにを頑張ったの？」

想 「お母さんの言ったとおり、みんなのやり方を真似たよ。変な子って言われないように。」

志野 「変な子？」

想 「お母さんは、僕の変なところが、他の子と違うところがすごく嫌いだったんでしょ？」

志野 「嫌い？ お母さんは、想ちゃんのこと嫌いだなんて思ってたわいよ。」

想 「嘘だ！ お母さんは、僕のことイライラしてた。だから、僕は、お母さんのお見舞いに

行かなかった。」

志野 え、お見舞い？

想 「お母さん、ごめんなさい。僕もお母さんに会いたかった。なんで行かなかったんだろう？」

志野 ……どうということ？

想 「でも、あれから六年経ってやっぱり思うんだ。変な子は変な子でいいって。お母さんは直
せって言ったけど、変な子でも生きていいって思うんだ。」

志野 ……。

想 （カーネーションを差し出して）「お母さん、ありがとう。僕が作ったカーネーション、お
母さんにプレゼントするよ。大人になった僕に会いに来てくれて、ありがとう。」

志野 どういうことですか？ 想ちゃん先生。

想 （時計を見上げて）あ、二分、経っちゃいましたね。ありがとうございました。

志野 あ、全然分らないんですけど。

想 今日、母の命日なんです。

志野 （慌てて頭を下げて）ごめんなさい。幸せですね、なんて、無神経なこと言って。

想 いや、僕は幸せです。（はしゃいで）志野先生と一緒に働けて！

華恋のスマホから通知音が響く。華恋、慌てて音を切ろうとするが、手遅れ。

想と志野が気づき、近づいてくる。

音響 1 4 通知音

人形 私たち、そんなじゃないから。ティンカーベル。

志野 華恋先生、帰ったんじゃないかったっけ？

華恋 あ、休養室に携帯忘れちゃって……。

想 華恋、合コンは？

華恋 もう遅れちゃったし、いいかなって。

想 （決めポーズで）華恋はそっかしいなあ。

華恋 うっかりものあんたに言われたくない。エプロンシアター、手伝う？

人形 いつから、見たの？

想 僕ひとりで作らないと意味ないから。ねえ、志野先生。（嬉しそうに志野の顔を見る）

華恋 （想に）あっそ。

志野 いや、いいよ。じゃあ、カーネーション、手伝ってもらおうかな？ 想ちゃん先生、折り紙

苦手だから。

華恋 そうなんです。こいつ、本当に不器用で。（想の手を馴れ馴れしく触りながら）だから、

私がやるって言ったじゃん。

想 （華恋とかなり近距離で話しているが、全く頓着せず）自分でやりたかったんだよ。

華恋 結局、志野先生に甘えて、ダメな奴ですよ。

志野 エプロンシアター、大丈夫？

想 （変な身振りで決めポーズ）大丈夫です。任せてください。

華恋 （想の身振りを真似て）なんじゃこりや。（華恋、想、笑う）志野先生、私が見張ってるん

で大丈夫ですよ。任せて帰ってください。

志野　じゃあ、カーネーションだけでも……。

華恋　だから大丈夫ですって、若い者にお任せください！（志野の背中を押して教室から出す）

志野　（戸惑いながらも）じゃあ、よろしくね。

華恋　お疲れ様でした！

想　お疲れ様でした！

志野、休養室に向かい、帰り支度をする。

想　よし！（折り紙を折り始める）

華恋　今日、お母さんの命日だったんだね。

想　うん。

華恋　（ボソッと）約束したのに忘れちゃった。

想　なにを？

華恋　なんでもない。（カラ元気で）想、聞いちゃった。志野先生が、好きなの？

想　うん。好きだよ。

華恋　八歳も年上だよ。

想　そうだね。

華恋　なんか、違う気がする。

想　何が？

華恋　想にはさ、もっと大きな人が合うと思う。

想　（物理的に大きいと思って）僕より大きな人はなかなかいないって。

華恋　違うよ、馬鹿！

想　え？

華恋　だから、もつと大らかで、どんとした人。

帰りがけ、志野がほっぺ組の様子を覗いて、聞いている。

想　志野先生は細いけど、信念があるよ。

華恋　なんか、明るさが嘘くさい。

人形　ティンカーベルはお見通し！

想　なんで、そんなこと言うんだよ。

華恋　慧ちゃんママと同じ臭いがある。

人形　あんた、私の何を知ってるの？

志野、肩を落として、その場を立ち去る。

音響 1 5　思い出のアルバム②

照明 1 4　暗転

照明 1 3　夜 3（照明 1 2+SSFF#71）

#7 ピーザーパン登場

翌日、参観日。子どもたちとママたちが集まってきている。怜於親子、慧親子はいない。親子の前のテーブルには、ピザパンの食材の入ったボールやまな板、包丁が置かれている。

音響16 たちねりあん体操②

照明15 朝（地明斜#W・#73+FRCI#W+TOP2#872+FR揭示板）

志野 （休養室に向かって）想ちゃん先生、想ちゃん先生、そろそろエプロンシアターお願いしますね。

想 はい。ちょっと待ってください。

志野 もし間に合っていないなら、私、エプロンシアター作ってますよ。

華恋、休養室の下から叫んでいる志野を見る。

華恋 任せてくださいって言ったのに。

志野 念のためにね！（大げさな身振りで）前に作ったものをちょっと変えただけなの。
想 （休養室から）大丈夫ですよ。任せてください！

怜於ママ、怜於を連れて駆け込んでくる。

怜ママ セーフ、セーフよね。志野ちゃん。

怜於 セーフ、セーフ、セーフ！

志野 怜於君ママ！ 来てくださったんだあ。

怜ママ 来んと思っちゃったん？ 志野ちゃん、私、信用しちよらんやろ。

想 （教室の中央に飛び出して来てポーズを取り）ピーマン！

悠子 いやああああ、ピーマン、嫌い！

悟 大っ嫌い！

怜於 いえーい！ ピーマン、ピーマン！

想 それでは、今から、ピーザーパンを作りましょう。

怜於 ピーターパン、ピーターパン！（ピーマンになった想に殴りかかる）

想 ピーマン、嫌いな子はいないかな？

子ら きらーい！ 大嫌い！

想 そんな子はピーマンが食べちゃうよ！

子ら いやーん。（泣き出す）

志野 想ちゃん先生、子どもたちを泣かせないでください。

想 志野先生、僕は、ピーマン。（自分を指さす）志野先生は、ピーマンが嫌いかな？

志野 大好きです。

怜ママ 告白？

想 え、本当ですか？（志野に近づく）好きなんですか？

志野 ピーマンは、大好きです。

怜ママ フラれた！

想 ああ、そっちな（残念）。（拳を挙げて）みんな、ピーマンやつつけちゃおう！

子ら （拳を挙げて）おおっ！

想 パンの上にケチャップをぶちゅーっとします。お母さんたちはそれを広げて具材を全部載つけちゃってください。

悟 （ケチャップをパンにかけて）あああ、血だらけだあ。（母に凭れて死んでいく真似）

悟ママ （芝居がかって）ああ、悟！

悠子 想ちゃん先生、悟君が死にました。

想 悟君、大丈夫？ こちよこちよするぞー。

悟 生き返った！

想 よし、ピーマン退治に行くぞ！（クラス全体に）お箸を持つ手に包丁を持ちます。反対のおててを、猫の手にします。にゃああああん。

子ら にゃああああん！

怜於 ワンワン、ワンワン。

怜ママ 爆笑！

想 ピーマンを細く切ります。

怜於 （両手で包丁の柄を持って、闘っているかのように勢いよくピーマンを切りながら）えい、や、だー。

怜ママ 怜於すごいじゃん！ そうだ、それでいいんだよ。

志野 怜於君、大丈夫かな？ 猫の手にしようね。

怜ママ 志野ちゃん、大丈夫。 怜於、ちゃんとやってるから。ま、みじん切りになっちゃってるけどね。

志野、怜於が切り終わると、怜於の使っていた包丁をしまう。

想、ピザパンの形をした被り物に被り替える。

悟 想ちゃん先生、（ピザパンの被り物をした想を見て、笑い出す）ピーマン退治しました！

悠子 ピーマンに食べられない？

想 はい、みんな強かったね。それではやつつけたピーマンをパンの上に載せちゃってください。その後、魔法の粉をかけてください。

子ら はい！

想 魔法の粉をかけると、あらあら不思議、みんなは、ピーマンが食べられるようになります。

悠子 うそお！

悟 うそだ、うそだあ。

想 悠子ちゃん、悟君、本当だよ。ピーザーパンは、嘘つかないよ！

怜於 ピーザーパン、ピーザーパン！

慧が左手を吊って、慧ママと登場。

慧ママ 志野先生、すいません。遅くなっちゃいました。

悠子 あっ！ 慧ちゃんだ。

悟 慧ちゃん、おててミイラだ！

悠子 ミイラ？

志野 え、慧ちゃん、どうしたの？

慧ママ やっぱりね、脱臼してたみたいなの。

志野 え、脱臼？

慧ママ あれから、ずっと痛いっていうから、小児救急に連れて行ったらね。

志野 （青くなつて）すみません。

人形 なんです？

想 え、でも、昨日、全然平気でしたよ。

慧ママ よく見ていただいてなかったんじゃないかしら。

悟ママ 肘の脱臼ってよくあるんですよね、先生。うちの上の子もようなりよったんよ。

悠ママ 記念病院の先生がうまいって言うよね。

悟ママ そうなんよ。治ったけえ、行ってみて、記念病院。

慧ママ （慧に上履きを履かせながら）うちの慧のは、そんな簡単なものじゃなくて、ちょっと拗らせちゃってるみたいで。

志野 気づかなくて、本当にすみません。

慧ママ 志野先生のせいだなんて、全然思ってますんから。

人形 うそ、思ってる！

怜ママ とりあえずさあ、ピーザーパン作らない？ ピーマン、退治するんでしょ。私、昼からレッスンあるからさ。

志野 慧ちゃんのパンは……。

怜於 （ケチャップのチューブを押しながら）うちぶちゅー。ぶちゅー。

怜ママ （周りを見回して）え？ あ、ごめん。ここ二枚あったから、怜於と私の分かと思っちゃった。

志野 あ、私が言っとくべきでしたね。

怜ママ （志野に）いいよ、いいよ。もう怜於が全部切っちゃってるからさ、あとは、魔法の粉をかけるだけだから、手使わなくていいじゃん。

慧ママ 魔法の粉？

想 はい！ ピーザーパンの魔法の粉ですよ。ピーマンをやっつけるんです。

志野 チーズです。

慧ママ じゃあ、手を洗ってきます。慧、手を洗いに行くよ。

怜ママ 怜於、手を洗うの、忘れとったね。

慧ママ え？

怜於、くしゃみを派手にした後、鼻水を手でふく。

怜ママ 大丈夫、大丈夫、あぶるから、ばい菌死ぬ、死ぬ！

慧ママ 志野先生、別の席、用意してもらっていいですか？

人形 そしたら、許してくれる？

怜ママ ここ空いてるって言ってんじやん。私らじゃ不満なわけ？

慧ママ いえ、慧は体が弱いので。

怜ママ そんな育て方してるから、弱っちくなっちゃうんだよ。

人形 黙れ、黙れ、黙れ！

慧ママ どういうことですか？

志野 怜於君、志野先生と一緒にしておて洗いに行こっか。

志野、慧ママ、慧、怜於を連れて、手洗い場に行く。

想 （怜於以外のテーブルの子たちに）魔法の粉をかけられたかな？

子ら はい。

想 じゃあ、ピーマンを火あぶりにします！ ママたちはこれをもって調理室に行ってください。

悟 （調理室に移動しながら）火あぶり、火あぶり……。火あぶりって何？

怜於ママを残して、一同、調理室に移動する。

慧と慧ママが帰ってきて、慧の手にアルコール消毒をする。

怜ママ あんたさ、大丈夫？

慧ママ なにがですか？

怜ママ 病んどるんやないん？

慧ママ え？

怜ママ 手、洗ってきたんでしょ？ アルコール消毒とか、いる？

慧ママ 放っておいてください。うちにはうちのやり方がありますので。

怜ママ 目吊り上げてて、子ども可哀想だからさ。

慧ママ （むっとして）……その言葉、そのままお返しします。

怜ママ は？ うちの怜於がかわいそうって言うの？

慧ママ ガサツで汚くて。

怜ママ 男の子なんてそんなもんでしょ。鼻くそくらい食べるし飛ばすわよ。

慧ママ 不衛生。……わかります？

怜ママ は？

華恋、ほっぺ組に入ってくる。慧はずっとトイレに行きたいことを言い出せずもじもじしている。

華恋 オープン、空いたんで、続いて行っちゃってください。あ、志野先生は？

慧ママ あ、今、怜於君が全身に水を浴びちゃったので、着替えさせてます。

怜ママ マジか、笑える。

華恋 慧ちゃん、手、どうしたの？

ずっとトイレを我慢していた慧、華恋にいきなり声をかけられ、漏らしてしまう。

慧ママ （怜於ママを睨みながら）ガサツな男の子にぶつかられて、脱臼しちゃいました。

怜ママ それ、うちの怜於のこと？

慧ママ それ以外、誰がいますか？ ガサツな子。

怜ママ あ、おしっこもらしてるよ。

慧ママ （激しい口調で）慧！

慧、慧ママの声に怯えて縮こまる。

華恋 慧ちゃん行こうか。

怜ママ あんた、子ども、ビビッてんじゃん。いつも叩いてんじゃないの。もっと優しく言ってやんなよ。凶星？ あははははは、わかるわかる。イライラするよねえ。うんうん、母親って辛いんだよね。

華恋、慧を奥に連れて行く。慧ママ、怜於ママの言葉に苛立ち、息が荒くなる。

怜於、走って帰ってくる。志野、雑巾を持って帰ってきて慧のおもらしを片付ける。

怜ママ 怜於、あんた、水遊びしたじやろ？

慧ママ （志野に）すみません。

怜於 ぼくすてたーん、ぼくすてたーん。

怜ママ お、うまくなつたじゃん。（スマホで撮影し始める）

怜於 ぼくすてたーん、ぼくすてたーん……。

慧ママ 僕捨てた？ 志野先生、ちよつと……。

慧ママ、志野を引っ張り、声を潜めて話し出す。

慧ママ あの子、僕捨てたって。捨てられたって言ってません？

怜ママ はあ、あんたやっぱ病んどるやろ。ボックスステッパーね！ 大丈夫あんた？ 怜於、すごいね。上手になったね、昨日も、必死で見とったもんね。

志野 昨日のいいことって……。

怜ママ あ、ダンスチームの練習。西日本大会、出るんだ。

志野 本当ですか？ 怜於君ママ。

怜ママ 嘘つくわけないやん？ あ、また、怒るつもりやろ？ 仕事以外で、子どもを犠牲にすんなとか。

志野 いえ。
人形 子どもを捨てて男と遊んでるんだって思った。

志野、雑巾を片付け、手を洗ってくる。

慧ママ、悟のテーブルに放置された包丁を取り、恍惚の表情を浮かべ、自分の手首に当てる。怜於ママの声に反応し、じっと怜於ママを睨む。睨んだまま包丁を持って自席に戻る。華恋の声に我に返ってテーブルの足元に包丁を投げおく。

怜ママ （奥にいる志野に向かって）怜於も、ダンスの練習見て喜んでるんだよ。練習見に来る？

志野 でも、お邪魔になっちゃ……。

怜ママ うちのチーム、みんな気さくな奴らだから喜ぶよ。

志野 そうなんですネ。

華恋、志野、慧を連れて戻ってくる。慧ママ、すかさず、慧の手をアルコール消毒する。

華恋 志野先生、オーブンお願いしますね。

志野 ありがとうございます！（怜於、慧母子に）さあ、魔法の粉をかけて、オーブンに行きましょう。

怜於 粉、粉。

怜ママ お、かけて、かけて！ ちちくんぷいぷい！

怜於 （粉をふりながら）ちちくんぷいぷい！ ちちくんぷいぷい！ うん（慧に差し出す）
慧 （粉をふりながら）ちちくんぷいぷい！

慧ママ 慧！

怜ママ 目が三角！

怜於 さんかく、さんかく！

慧 さんかく、さんかく！

慧ママ 慧。

志野 それじゃあ、ママたち、ピザパンを焼きに行きましょう。

志野について、一同、調理室に退場。入れ替わりに、ほかの親子が入ってくる。

想 それでは、ほかほかのうちに、ピーザーパンを食べちゃいましょう！
一同 いただきます。

悟ママ 悟、食べれるかな？

悟 （ピーマンが怖くて一瞬躊躇うが、思い切って食べて）おいしい！

悠ママ あら、悠子ちゃん食べないの？

悠子 ピーマン嫌い。

悠ママ じゃあ、ママ全部食べちゃおう。

悟 （悠子に無理やり食べさせ）悠子ちゃんおいしいよ？

悠子 おいしい。

悟 食べました！

悠子 食べました！

想 それでは、お母さんにお花とみんなの描いた絵を渡しましょう！

悠ママ え、待つて待つて！ 写真撮るけえさ。想ちゃん先生も入って入って。

悟 お母さん、いつもありがとう。

悠子 お母さん、いつもありがとう。

悠ママ あ、も、一回、もう一回やつて。

悟ママ 泣ける、まじ泣けるけえ。

悠ママ ほんとねえ、上手になったよね。

志野、 怜於、慧、ママたちとともに帰ってくる。

志野 はい、怜於君、慧ちゃん、食べましょう。手を合わせて、いただきます。

慧 いただきます。

怜於親子、いただきますを待たずに、食べましょうの瞬間に食べ始めてしまっている。

怜ママ うつまああ！

怜於 うつまああ！

怜ママ （慧ママに）あんた、何突っ立つてんの？ 早く食べなよ。

慧ママ いえ、私は。

怜ママ あ、チーズだめとか？

慧ママ ええ、まあ。

怜ママ 慧ちゃん、食べな。

慧 うん。（手を伸ばして食べ始める）

怜ママ おいしいよね。

慧 おいしい。

怜於 おいしい、おいしい！

怜ママ あんた、本当に食べないの？

慧ママ 結構です。

怜ママ 慧ちゃん、もっと食べな。

慧 うん。

慧ママ 慧は、もういいよね。

怜ママ いるよね。もっと食べれるよね。

慧、笑顔でピザパンに手を伸ばす。

慧ママ 慧！

慧 （口に持って行ったものの、慌てて戻して） もう……いらない。

怜ママ うわぁ！

慧ママ 何か？

怜ママ いえ、別に。

人形 何これ？ どうしよう、どうしよう？

慧ママ、呼吸が荒くなる。じっと慧を睨んでいる。慧、怯える。

志野 （カラ元気で）それでは、食べ終わった人から、お母さんに、お花と絵をプレゼントしましょう。取ってきますね。

志野、お花と母の日の絵を取りに行く。

怜於、慧のピザパンを引き寄せて食べようとする。

怜ママ 怜於。（なんで、他人のまで食べようとするんだよ）

慧ママ どうぞ。（うちは要らないので、食べてください）

怜於ママ、慧ママの迫力に押されて、慧のピザパンを怜於と食べ始める。

慧以外の親子は賑やかに親子で戯れている。

慧ママ、ますます呼吸を荒げ、隠していた包丁を取り出し、慧の腕を切る。

一瞬恍惚の表情を示すが、直後に自分のしたことに気付き、包丁を投げ出す。

慌てて、慧を抱きしめる。

慧 う。

慧ママ 慧？ どうしたの、おなか、痛いのか？

怜ママ （呆れて）いや、慧ちゃん、全然痛がつてないから。嬉しそうに食べてたから。

慧ママ 苦しいね。志野先生、ちよつといいですか？ なにか入ってたんじゃないですか？

怜ママ 入ってたって鼻水か唾くらいなものでしょ。

慧の三角巾が血で赤く染まっている。

怜於 （血に染まった三角巾を見て） うわっ！

悟 血だらけだぁ。（母に抱かれ目隠しされる）

怜ママ （出血に気付き慧ママに） あんた何やったの。

慧 痛い！

慧ママ なんでもこんなところに包丁が！？（怜ママに）あんたの息子が包丁を放り出したんじゃないの？

志野 いえ、包丁はしまったはずです。

慧ママ 志野先生、あなたまたですか？ 何度うちの慧を怪我させたらいいんですか？

志野 いえ、包丁は、しまいました。

慧ママ じゃあ、そこにあるのは、何？

怜ママ あんたが抱いたとき、刺したんじゃないの？

想、志野の手にある包丁を受け取り、しまいに行く。受け取った瞬間、「あつ」と何かに気付く。

志野 とりあえず、慧ちゃんの手当てをさせてください。

慧ママ もう志野先生は信じられません。

志野 お母さん！

想、慧の肩を抱き、連れていこうとする。

想 慧ちゃんママ、僕に任せてください。

慧ママ 触らないで！ あんたなんか触られたくないって言ってるでしょ！

一同、ざわつく。

想 （何故か変なポーズで）救急車を呼んできます。

慧ママ 結構です。慧。お母さんと一緒に帰りましょう。

怜於 きゅうきゅうしゃー！

慧ママ、慧の肩を抱いて、出口へと向かう。途中、突然慧が母のもとから逃げ出す。

慧 慧、嫌だ。

慧ママ 慧！

志野 なに？ 慧ちゃん。（慧の肩を抱き）言っているんだよ。

慧ママ （志野と慧の間に割って入って）慧。

慧 （再び、母から逃げて）ママ、慧、もう嫌だ。

慧ママ 慧？（呼吸が更に荒くなる。パニックを起こして動けない）

慧、ママ好き。でも、（しゃがみ込む）……怖い。

志野 （慧を抱き）慧ちゃん、何？ お母さんになんて言いたいの。

慧、いい子だから、泣かないの。

志野 泣いていいんだよ。

慧 泣かないの。

志野 泣きたいときは泣いていいんだよ。お母さん、聞いて！

慧 ママ、慧のこと……嫌いなもの？

照明 1 6 叫び (TOP2#872・狙中央#86・TOPB+CL 狙叫び)

慧ママ (しゃがみこんで動けなくなる) ああああああああ！

慧 ママ嫌いなもの？ ごめんなさい、ごめんなさい……。ママ、泣かないで……。ママ泣くの、嫌。

志野 お母さん。

人形 嫌いなもの？ ごめんなさい、ごめんなさい、ごめんなさい。

志野 お母さん、笑って！

想 (慧ママに) 慧ちゃんママ、慧ちゃんママ、慧ちゃんは、ママに笑ってほしいんです。ほら、見てください、ママの絵。

慧ママ いや。

志野・人形 捨てないで。お母さん、お願い、行かないで。

慧ママ いやあああああああ！

音響 1 7 思い出のアルバム②

照明 1 7 暗転

8 フラッシュバック

二十五年前の志野の家。幼い志野が牛乳パックの人形で遊んでいる。
その姿を現在の志野が指を咥えて見ている。

照明 1 8 フラバ (CL 狙志野#71・叫び#872・山台#872+CL 矩形山台#872・CL 狙悦子)

幼志野 (ウエンディ) 「ピーターパン、志野、行けない」

(ピーター) 「大丈夫、勇気を出して。僕がついてるよ」

(ウエンディ) 「志野がいなくなったら、お母さんが悲しむの」

(ウエンディ人形を抱きしめ) 「志野、行かないで。お母さんを一人にしないで」

(ピーター) 「……ネバーランドには、おいしいものがいっぱいあるんだよ」

(ウエンディ) 「オムライスある？」

(ピーター) 「うん。どんな料理だって作ってくれるお鍋があるよ」

(ウエンディ) 「プリンある？」

(ピーター) 「お菓子の家があるんだ。叩いたら、どんどんお菓子の増えるポケットだつてあるんだ。ほら、どうぞ！」

(ウエンディ) 「うわあ、プリンだあ。ありがとう！」

幼い志野、必死に空の牛乳パックを舐め始める。

そこにやってきた志野の父、幼い志野の様子を見て驚く。

志野父 志野、何しよんか？ お母さんは？

幼志野 ……。(怯えながら首を横に振る)

志野父 いつからおらんのか？ ……プリン、食べるか？

幼志野 プリン……。

志野父 （袋の中に、スプーンが入っていないことに気づき）スプーン……。

幼い志野、父の下げている袋に飛びつき、吸い込むようにプリンを飲み込む。

志野父、プリンの蓋を開けた後、スプーンを探しに台所へ行く。

媚びた笑い声を上げながら酔ってふらついた母が帰ってくる。

志野母 （食べ物が入っていると思われるコンビニの袋を幼い志野に差し出す）シーのちゃん、はい。

（手の中のプリンを見て）なにそれ。（志野父に気づき）あら、お久しぶり。何？ 養育費？
振り込んでくれたらいいのに。

志野父 なんて、志野は牛乳パックなんかを舐めよんか。

志野母 志野！

幼志野 ごめんなさい、ごめんなさい。

志野母 この子ね、牛乳が大好きなんよ。最後までべろべろ舐めてみっともないったらありやしない。

志野母、幼い志野を汚らしいものかのように睨む。幼い志野、縮こまり愛想笑いをする。

志野父、幼い志野にスプーンを渡す。

志野母 なにその顔。愛想笑いして気持ち悪い。（戸棚に入れている財布の中を見て舌打ち）ねえ、

養育費足りないんだけど。

志野父 この前振り込んだろ。

志野母 あれっぼっち？ 足りる訳ないじゃん。

志野父 ……お前どこに行っちゃったんか。鍵も開けっ放しにして。

志野母 関係ないやろ。もう私のダンナじゃないんやけえ。それとも、何？ 私が恋しくなった？

（父の顎を撫でる）

志野父 （手を払いのけ）ふざけんな、電話があったけえやろ！ 志野が来ちよらんって。

志野母 はいはい。

志野父 ほら、母の日の絵。（絵を母に手渡す）

志野母 はっ。（じっと見つめて、眉をひそめて絵を放る）

志野父 お前、それでも母親か。

志野母 じゃけえ、子どもなんて産みたくなかったんよ。

志野父 志野の前で言うな。

志野母 あんたがごねるけえ、堕せんくなったんやろ！（苛立ちに任せて、幼い志野を蹴る）

幼志野 きゃあ！（牛乳パックの人形が飛び落ちる）

志野母 あんた、責めるだけでなんもしてくれんじゃん。いつも、黙って見てるだけ。

クラクションが鳴り響く。

志野父 は？ どこに行くんか？

志野母 どこでもいいじゃん。（退場）

志野父 志野は？

志野 お母さん……行かないで。捨てないで！

照明 19 ブル転（地明#73中）

志野父、幼い志野、ストップモーション。

スポットで、志野のみ照らし出される。

音響 19 思い出のアルバム②

音響 20 思い出のアルバム①

志野 （飛び落ちた人形を掲げて）

照明 20 フラバ後（CL）狙志野#71・CL狙叫び#872

（ピーター）「志野ちゃん、志野ちゃん、ほら、魔法の粉をかけるよ。勇気を出して飛び出して！」

（ウエンデイ）「飛び方が分からないの」

（ピーター）「大好きなもの、思い浮かべて」らん

（ウエンデイ）「大好きなもの……？」

志野母 （飛び出して来て）「おいで、志野ちゃん」

照明 21 対峙基本（照明 20 + SSA#20・SSB#71・S4#86）

志野 「お母さんのいない国へ」

照明 22 睨み（照明 21 - CL 志野 CL 叫び）

音響 21 思い出のアルバム②

人形、前に出てきて、じっと志野を睨みつける。

照明 23 絞首（照明 21 + SSCD#71）

#9 対峙

人形 だから、言ったじゃない、あんたには無理なのよ。

志野 やめて。

照明 24 絞首 2（照明 23 - CL 志野 CL 叫び）

人形 分かってたんでしょ？ あの母親が、全部やってる。

志野 違う！

人形 あんたの理想の母。『必死になってくれる素敵なママ』。

志野 やめて！

人形 あんたの理想はあんな奴。あんたの母親と同じ。

志野 違う！

照明 25 絞首（同照明 23）

人形 へえ、認めたくないんだ、自分の DNA。

志野 やめて！

人形 虐待スパイラル、絶対止められない！

志野 やめて。

人形 子どもたちを救う？ あはははははははは！ 救うどころか、傷つけてる。

志野 傷つけてなんかいない。

人形 見ないふり？ 認めたくないから？

志野 違う！

人形 愛を知らないあんたは子どもを育てられないってこと。（幼い志野を蹴ったように蹴る）

志野 （蹴られて）きやあ！（怯え指を咥えて）ごめんなさい、ごめんなさい……。

人形 お母さんが恋しい？

志野 黙って！

人形 お母さんがいないとダメ？

志野 消えて！

人形 お母さんのこと大好きだもんね？

志野 大嫌い！

人形 ほら、おいで！ お母さんのこと大好きでしょう？ ほら、おいで。

志野。 人形の肩に手を伸ばして、まさに抱きしめようとする。

人形 ……ほら、笑って。

志野 （人形を押し倒し首を絞める）あああああ！

#10 お母さんのいない世界

想、入ってくる。人形の首をしめている志野を見て驚く。

照明26 夕方2（同照明5）

想 志野先生、ウエンディに何してるんですか？ ウエンディ、苦しいですよ。

志野 （我に返って）え、あ、はい。

想 ウエンディ、嫌いなんですか？

志野 （呆然として）ウエンディじゃありません。

想 ウエンディって言ってませんでしたか？

志野 言いました。

想 うん？

志野 時々、狂ってウエンディじゃなくなるんです。

想 なんで、泣いてたんですか？

志野 言いたくありません。

想 だったら言わなくていいです。（ウエンディを片付ける）

志野 （失笑）私、母親に未来全部奪われちゃって……。

想 それは、キャプテンフックより手ごわいキャプテンマザーですね。

志野 ほんと。倒してよ、ピーターパン。

想 （決めポーズ）いやっほおい！ 僕の出番かな？

志野 母みたいな最低な大人から子どもを守るつもりで、保育士になったけど、人を見分ける力全然ないし。

想 それは、今からですよ。

志野 だめ！ 私みたいな人が保育士になっちゃいけないの。私みたいな過去を持つ人は、また虐

待スパイラルを起こしちゃうの。

想　じゃあ、僕がずっと見てあげます。志野先生を。

志野　ずっと見とくなんて、無理に決まっているでしょ。

想　虐待スパイラルなんておきません。幸せな育ち方をした人しか育てられないなら、親も保育士もいなくなります。

志野　そんな親も保育士もない方がいいのよ。

想　志野先生は虐待しません。子どもたちのこと、大好きなんだから。

志野　私は……子供たちが……。

人形　本当に、好きなの？

想　僕が母にかけた最後の言葉、なんだと思いますか？「黙れ、くそばばあ。お前みたいな母親じゃない」です。最低です。母は決してひどい母じゃなかったのに、僕のことを必死に思ってくれてたのに、僕が母を不幸にしました。

志野　何があったの？

想　十四の時でした。僕、クラスで浮いちゃって、学校に行けなくなっただけです。「こんな想を残して死ねない」って、自分は具合が悪かったのにあちこちの相談センターに連れていかれました。僕、それがいやで部屋に閉じこもっただけです。時計の音が怖くて。朝になったら、学校に行かなくちゃいけないって思うと、時限爆弾をつけられている気分でした。……時計の音が怖いなんて、ピーターパンじゃなくて、フック船長ですよ。……ははは。悪役です。ピーターパンは幼稚園の頃母が買って読んでくれた絵本でした。親に捨てられた子を率いるピーターパンの絵本を言うなんて、きっと僕のことを嫌いだって……。

志野　お母さんは、ピーターパンのそんなエピソード知らなかったんだよ。冒険がおもしろいと思っ

想　って買ってくれたんだよ。どうしてもそう思えなかったんです。お母さん、本当にうるさくて、「なんで僕のことを分かってくれないんだ！」……だから、ピーターパンになりました。お母さんのいない世界に行きたかった。そしたら本当に……お母さんがいなくなりました。

志野　（想の肩に手を添えて）……私も、お母さんのいない世界に行きたい。でも、心から消せないの、いやな母が。最低の母が。（立ち上がって、人形のもとに行き、人形を殴る）

想　お母さん、いてもいいです。

志野　え？

想　キャプテンマザーも重要な悪役です。いなきや、志野先生の物語は始まりません。あああつ！　そうか、この人形は、時々志野先生のお母さんになるんですね。

志野　……お母さん？　ううん、私！　私の中のドロドロに汚れた心。

想　どっちも、志野先生の大切な一部です。僕、このウェンディも、好きです。

華恋が、そっと入ってきて、二人の様子をじっと見つめている。

#11 信じて……

悦子も、華恋に続いて、ほっぺ組に入ってくる。

悦子 （想と志野の様子を見て） 若いっていいわね！

華恋 （悦子の言葉にイラっとして） ピザパン、どうですかね？

想 なんだよ、華恋その言い方。

華恋 （椅子を出しながら） ピーザーパン！ 調子乗ってんじゃないよ。

想 乗ってないし。

悦子、ぼおっと立っている志野を椅子に座らせる。

華恋 慧ちゃんのこととはともかく、食べ物扱うと、アレルギーとか食あたりとか面倒くさいじゃないですか？ 切れにくい包丁だったから、大した傷にはならなかったけど、変な言いがかりつけられて、いいことないでしょ？

悦子 大事にならんでよかった。慧ちゃんパパもええ人そうやったし。引越したばかりで、いろいろ溜まっちゃってやろうから、気をつけてみちよこ。葉が多いのも気になるしね。

想 脱臼も、おかしいです。昨日全然平気でした。慧ちゃん、リュックだって持ってたよ。あのお母さん、ものすごい勢いで引張ってたから、お母さんが脱臼させたってことはないですか？

想 それ、本当？

華恋 うん。

悦子 まあまあ。（ため息をつき） でも、包丁も志野先生がしまったはずなんよね？

想 包丁をしまわなかったのは、僕なんです。

華恋 お前か！

志野 ……（聞こえるか聞こえないかの声で） どうして……？

想 水色の柄は、悟君のところでした。

志野 え？

想 僕がしまい忘れました。本当にすみません。

悦子 （厳しく） そりや、想ちゃん先生、大きなミスよ。うっかりじゃすまされんよ。

想 すみません。でも、どうして、包丁が慧ちゃんのテーブルに移動していたのか……。

華恋 そりやあ、慧ちゃんママやろ？

想 僕も、そうかなって。

間

華恋 このままでいいんですか？

想 兎相に連絡しましょう。

悦子 でも、絶対慧ちゃんママのせいとは言切れんけえね。

華恋 このままじゃ、慧ちゃん殺されるかもしれませんよ。

想 今の状況だけでも、伝えとかなきゃ。

悦子 そうじゃね。それは、私に任せて。慧ちゃん。パパにも、もうちょつと踏み込んでお話ししてみようね。でも、慧ちゃんを守るのは私達よね、ね、志野先生、想ちゃん先生。

想 はい。

志野 私にできるでしょうか？

華恋 何、言ってるんですか？ やるしかないでしょ。

悦子 志野先生？

志野 ……私……保育士、向いてないかも……。

悦子 どうしたん？

志野 ごめんなさい。全部私が悪いんです。

華恋 全部って何？ 何、自分責めて、悲劇のヒロイン気取ってんの？ 全部悪いの、（想を指して）こいつでしょ？

想 本当にすみません。

華恋 はっきり言ってくださいよ。なんで何も言ってくれないんですか？ 諦めないで、本気で想のこと怒ってやってくださいよ。志野先生、結局、笑って、気持ち押し殺してなにも言ってくれない。私たちのこと、信じてないんでしょう？

照明 27 反省会（照明 26 + TOP2#872 狙一サス中央#86）

人形 信じる？

志野 え……？

華恋 私、志野先生のこと信じたいのに、信じてくれない人、信じられないじゃないですか？

人形 信じたい？

志野 ……。

悦子 華恋先生……。

志野 ……私、自信なくて……。

人形 やめて！

志野 私も、慧ちゃんママと同じだから。

人形 認めちゃっていいの？

志野 親に愛されずに育ったから、いつか壊れて、自分がされてきたように、子どもたちを傷つけてしまう。

人形 保育士人生終わりね。

華恋 ……志野先生、虐待されてたんですか？

志野、
頷く。

華恋 慧ちゃんママも？

志野 私、聞いてたから。だから……認めたくなかった。

悦子 慧ちゃんママが話してくれたのは、志野先生の力やろ。

華恋 ごめんなさい。無神経でした。

想 志野先生は、壊れません。絶対虐待なんかしません。

華恋 本当にごめんなさい。志野先生の苦しみを知らないで。

人形 簡単に同情しないでよ

悦子 志野先生なら、大丈夫。

人形、悦子を睨む。

華恋 私も信じます。志野先生なら、大丈夫って。……だから、志野先生も……自分を信じてあげて。

人形 自分を？

悦子 ……そうやね。子どものころの志野ちゃんを救ってあげんにやあいけんね。志野先生、志野ちゃんに、「もう大丈夫よ」って言ってあげて。

人形 志野ちゃん？

一同、黙って志野を見つめる。志野は、「志野ちゃん……。」とつぶやく。

悦子 （こみ上げてきて）ちょっとあっちで休もつか。

悦子、志野の肩を抱き、休養室に連れて行こうとする。

想 （志野の背中に向かって）志野先生、大丈夫ですから。僕がずっと見てますから。

悦子 ……若いってええねえ。

想 はい！

照明 2 8 夕方 2（同照明 5）

悦子、志野、休養室に移動する。悦子、特製ホットシナモンミルクを用意する。

華恋、想、椅子を片付ける。

華恋 （不貞腐れて）……はあ、せいせいした。もうええけ。志野先生に全部任せる。

想 任せるって何を？

華恋 あんたのことよ。あんた、ちつともちゃんとできてないじゃない。

想 僕の何ができてないっていうんだよ。

華恋 志野先生、志野先生って。何の助けにもなってないから、こんなことになったんじゃない。

包丁、しまっとけ！ 水色の柄なんてどうでもいいんだよ！

想 ごめん。

華恋 ごめんで済んだら、こんなことになってないって。

想 僕こそ、保育士に向いてないのかも……。

華恋 一丁前に悩んでんじゃねえよ。想は、この道で生きるって決めたんだろ？

想 （肩に手を置き）……そうだね。華恋

華恋 （ときめいて） え？

想 ピーマンとピーザーパンの着ぐるみ、それから、カーネーションとウェストポーチも全部準備してくれてありがと！

華恋、声を上げて泣く。

想 なんて、泣くんだよ。泣くなよ。僕、もう僕のせいで、人が泣くのは嫌なんだよ。

華恋 じゃあ、泣かすなよ！（退場）

想 え？ 華恋！

#12 泣いてもいいんだよ

照明 29 上手（地明一二サス CL 上 CL カッターライト #872・CL 狙悦子 TOP3）

想、華恋を追って退場。休養室では、悦子が志野にホットシナモンミルクを出す。

悦子 最近、頑張り過ぎとったやろ。志野ちゃんほど頑張り屋の保育士はおらんよ。はい、悦ちゃん先生特製ホットシナモンミルク。（コップを手に持たせて）はい。『あったかいんだからあ

♪ 飲んでえ♪

……（ミルクを飲む） あったかい。

でしょ？ ……胸、貸す？ この豊満な胸。

え？

恋しいんですよ、お母さんが。

（無理に笑って） 恋しくなるようなお母さんじゃなかったんで。

悦子 （健気に耐える志野が愛おしく思わず抱き寄せ） ぎゅうっ。おっぱいぎゅっ！

悦子、強引に抱き寄せる。志野、怯えて指を咥える。

照明 30 ぎゅう（照明 29・地明 CL 上・山台）

悦子 志野先生、無理して笑わなくていいんだよ。（深く息を吐き出し） ……私もね、母の愛、知らないのよ。私を産んですぐ亡くなったからね。それでも、保育士歴三十五年、三児の母。一日五時間程度のパートタイム母だけだね。 ……でもね ……私もやっぱり、抱きしめてほしかった。だから、抱きしめさせて、志野ちゃん！（こみあげて、志野をさらに強く抱きしめ） 志野ちゃん、吐き出しちゃいな。

志野、悦子の胸の中で首を横に振る。

悦子 （赤ん坊をあやすときのように、志野の肩に置いた手で優しくトントンと撫でながら） ……

志野ちゃん。

志野 （突然、呻くような声で） ……なんで ……？

悦子 （胸の中でつぶやく志野の様子を見つめて） ん？

志野 （子供のように）……こわ……かった。

悦子 （よしよしと頷きながら）うん、うん。

志野 （嗚咽混じりに）こ……わくて……こわ……くて、いやだった！ ひとりぼっちで、寂しかった。……だ……だき……しめ……て、ほ……ほし……かつ……た……！

悦子 （感極まって）頑張ったねえ、志野ちゃん。一人でずっと踏ん張ってたんだよね……。

志野 （更に激しくしゃくりあげる）

悦子 ほら、いっぱいいるでしょ？ 志野先生の周り。志野先生だからできること、あるじゃない？

志野 （悦子の胸に顔を埋めて号泣し続ける）

#13 ずっと……

人形の傍に幼い志野が現れる。人形、幼い志野の髪を激しく掴み語りかける。

照明 3 1 恋しい？（照明 9（SFを#W）-SSCD）

人形 お母さんが恋しい？ お母さんがいないとダメ？ お母さんのこと大好きだもんね？

悦子の胸で泣いていた志野、幼い志野の元に寄り、ぎゅっと抱きしめる。

人形 なあに？ 先生のお胸に抱かれて傷は癒えた？

志野 ずっと辛かった。……なんで（あなたが）お母さんなんだろうって。なんで私には、抱きしめてくれるお母さんがいないんだろうって！

人形 へえ、言うじゃない。それで？ 最低の過去は消せた？

志野 （幼志野と見つめあって）もう消さない。（ウエンディをじっと見つめる）

人形 （志野のもとを離れて）なによ。

照明 3 2 人形降壇（照明 3 1-SSEF+TOPB2・CL志野#71・叫び#87）

志野 （後ろから抱きしめて）大切な……私のドロドロした思い。

人形 え？

志野 私だから、できることがある。

人形 （志野を突き飛ばして）あんたには無理よ。

幼い志野、人形のもとにやってきて、志野ともに人形を抱く。

志野 お母さん。……憎くて、悔しくて、大っ嫌い！ でも、ずっと私のお母さん。（強く抱きしめ）さよなら。私の……ドロドロした思い！

人形 志野……？

照明 3 3 成仏（照明 3 3-SSCD・S4+TOP1#86）

人形、母の魂が抜けたように、人形の笑顔になって座り込む。

志野、幼い志野を笑顔で見つめる。幼い志野、去っていく。

照明 3 4 咲（同照明 5）

音響 2 2 思い出のアルバム③

志野

（もう一方の人形のそばに行き）ピーター・パン、私、大丈夫。自分で飛び立てる。（ピーター・パン人形をウエンディ人形の隣に置く。人形の持っていた慧の母の日の絵（裏には慧の手形でできたカーネーション）を取り、じっと見つめ、その絵を抱く）……大好きなもの、ちやんと思ひ浮かべられるから。

音響 2 3 たしかなこと

慧ママが、サンダル履きで髪を振り乱してやってくる。手には折り紙で作った花籠を持っている。志野に花籠に差し出そうとして、何かに気づいて背に隠す。花がパラパラと落ちる。

志野

慧ちゃんママ……。

慧ママ 志野先生。（言葉が出なくて、髪を掻きむしろうとする。腕にはリストカットの跡）

志野、慧ママを引き寄せ、抱きしめる。戸惑っていた慧ママも、志野の背中を抱き返す。慧ママ、号泣。ひとしきり泣いた後、志野、慧ママに慧の絵を手渡す。慧ママ、絵を見つめた後、裏に慧の手形があることに気づき、手形に手を重ねる。

慧ママ （しやがみこんで）慧！

志野がしやがみこんで慧ママを抱きかかえようとして、後ろで二人を見つめている悦子、想、華恋に気づき微笑む。志野、慧ママの背中をなでつつ、慧ママを優しく見つめる。中央には、二つの人形が微笑んでいる。

照明 3 5 閉幕（照明 5 前明かり）

舞台 2 緞帳 DOWN

幕

《参考文献》

鈴木 重敏『ピーター・パン写真集 ネバーランドの少年たち』新書館（1989/10/1）
 ジェームズ・バリ（原作）西本 鶏介 監修 早野 美智代 文『小学館世界の名作 1 『ピーター・パン』 小学館（1997/9/19）
 ジェームズ・M・バリ 著 大久保 寛 訳『ピーター・パンの冒険』新潮社（2017/11/29）
 ジェームズ・M・バリ 著 大久保 寛 訳『ピーター・パンとウエンディ』新潮社（2015/4/30）
 山田 詠美『つみびと』中央公論新社（2019/5/21）
 愛知県青い鳥医療福祉センター「作話てんかん（代理による）シミュンヒハウゼン症候群」<http://aioiri-center.com/tenkan/munchausen.html>（最終閲覧 2019/8/14）

